

デジタル・デバイスについて

情報システムⅡ 第8講

目次

- デジタル・デバイドって何？
- デジタル・デバイドの例
- デジタル・デバイドの現状-①世界
- デジタル・デバイドの現状-②日本
- なぜ格差は起こるのか
- 対策方法
- まとめ

デジタル・デバイドって何？

デジタル・デバイドとは.....

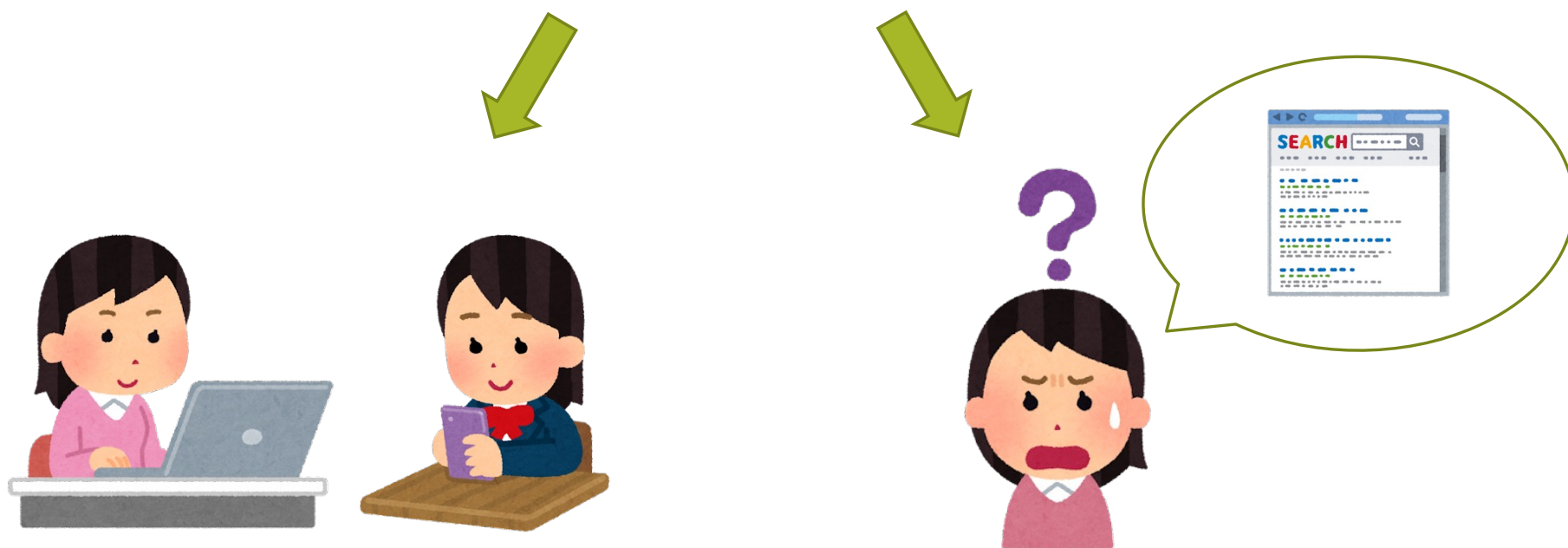
IT(情報技術)を利用できる層とできない層との間で生じる格差のことを指す。

情報技術を使いこなすことで情報の入手量や質が格段に向上する。一方で使いこなせない人との間に情報格差が生まれ、それが機会や待遇の差、最終的には貧富の格差につながるという考え方。

(コトバンクより)

デジタル・デバイスって何？

急速な社会の情報化



デジタル・デバイドの例

- 経済格差の拡大
- 高年齢世代の孤立化
- 事件や災害に巻き込まれる可能性が高くなる
- グローバル化への遅れ
- IT技術を持った人材の不足

デジタル・デバイドの現状 -世界の現状

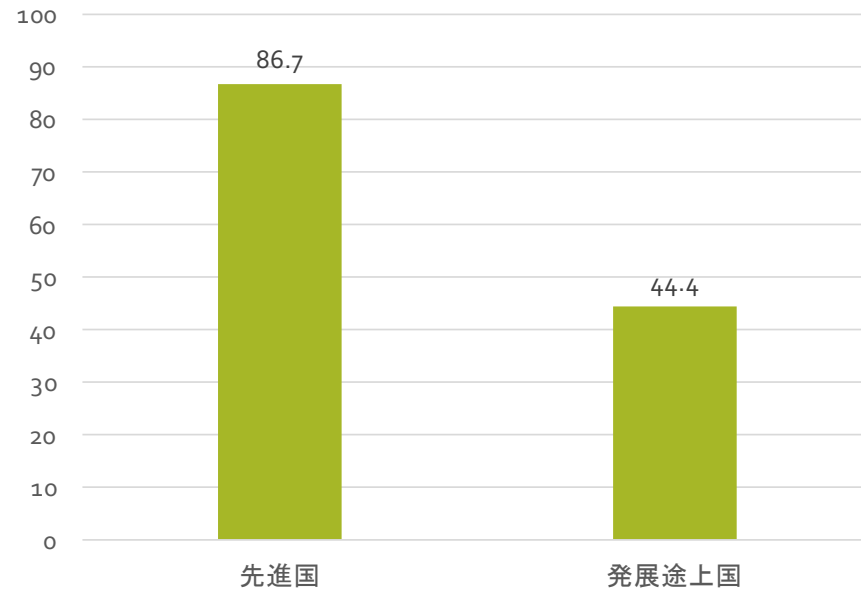
IT機器を購入・インターネットを利用するためには
ある程度の所得と安定した通信回線が必要



必然的に先進国でのインターネット利用率は高くなり
発展途上国では低くなる

デジタル・デバイドの現状 -世界の現状

国際間デバイド(2019年度)



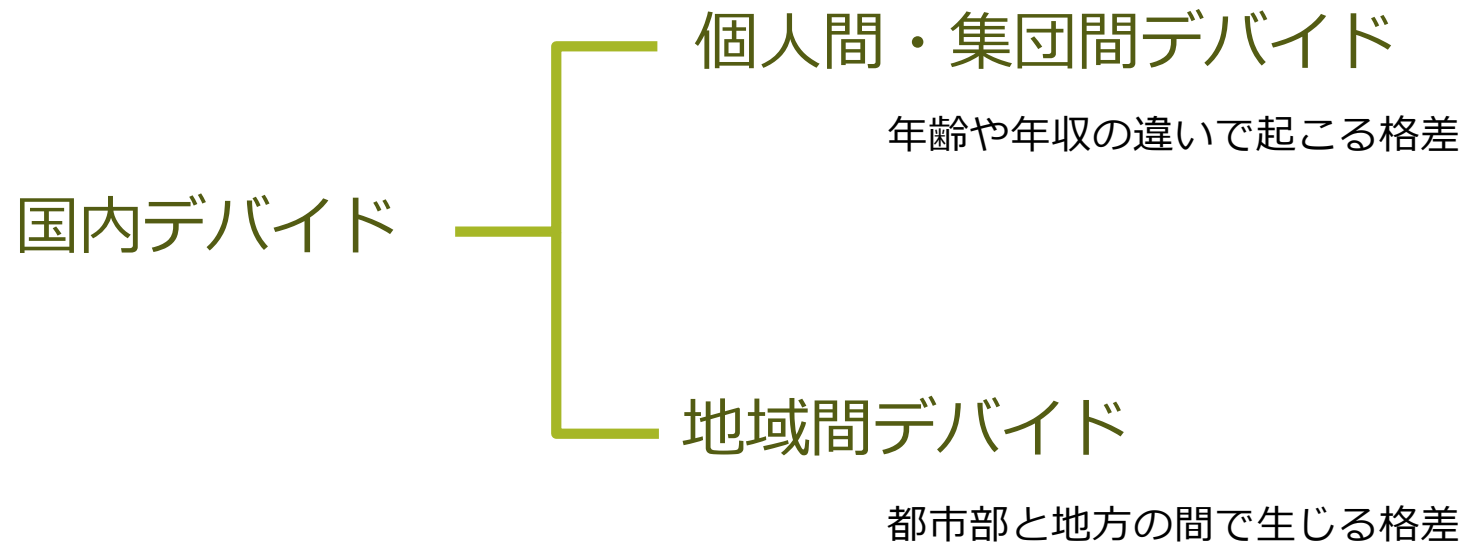
(COCOCOLOR EARTHより)

先進国と発展途上国でのインターネットを使う人の比率の差は約40%



インターネットが発達しても環境や所得などが違うため差はなかなか縮まらない

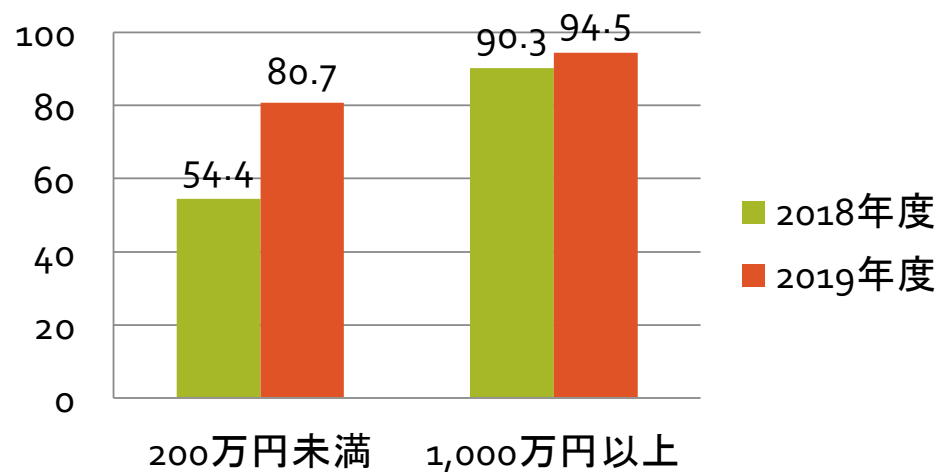
デジタル・デバイドの現状 -日本の現状



デジタル・デバイドの現状 -日本の現状

個人間・集団間デバイス

インターネット利用率(年収別)



(総務省 令和2年度版情報通信白書より)

- 年収別だと2018年に比べるとかなり差は縮まったように見えるが約10%の差がある
- 富裕層や若い人の方がリテラシーが高い傾向にある

デジタル・デバイドの現状 -日本の現状

地域間デバイド

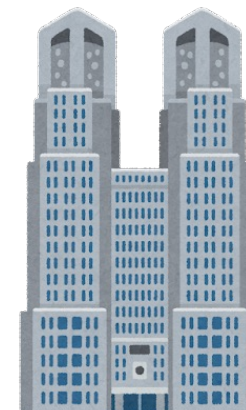
都市部から離れた山間部や離島などはインフラ整備にお金と時間がかかる



その間にも都市部で情報化が進んでいく



格差の拡大へ



なぜ格差は起こるのか

- 学歴や収入の差
- ITインフラ・IT人材の不足
- 都市部と地方の地域格差
- 身体的・精神的な障がい
- スマートフォンの普及によるPC離れ

対策方法

①国際間の対策

先進国からの経済援助、技術転移、IT人材派遣など

②地域格差対策

短期間でのインフラ整備、衛星通信の活用

③教育による対策

初等教育の情報教育など

④所得格差の対策

高速回線の利用料金の低下、公共のアクセスポイントの普及

まとめ

- デジタル・デバイドとは簡単に言うと情報格差のこと
- デジタル・デバイドによって人権的な問題も発生してくる
- 世界でも日本国内でも問題になっている
- デジタル・デバイドと一言で言ってもその種類や原因はさまざまなのでそれぞれの格差に合った対策が必要